



カンピューナー南海

第28号

平成28年6月発行

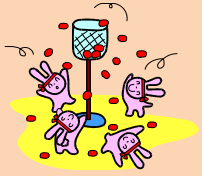


平成28年5月28日(土)外はあいにくの雨でしたが、雨にも負けず第16回南海老健大運動会が開催されました。紅白それぞれ団長の気合いの入った選手宣誓に始まり、各競技では紅組・白組に分かれ白熱した戦いが繰り広げられました。

日頃のリハビリの成果が発揮されており、いつもは見れない真剣な表情で競技に参加されていました。結果は今年も去年に続き、紅組の勝利で幕を閉じました。競技にご参加いただいた家族の皆様方、ありがとうございました。



第16回南海老健大運動会



応援合戦(紅組)
一世風靡 セピア



vs
応援合戦(白組)
ソーラン節



大玉転がしの
あとは玉入れ



副団長対決 関ヶ原の戦い



☆入所者による障害物競争



職員による障害物競争☆



☆締めくくりはフォークダンス☆



今年は50点の差をつけ紅組の優勝でした!



家族交流会

運動会後デイルームにて、家族交流会を行いました。今回は恒松芳洋医師より「悩むより考えよう」と題して自分自身の人生の終末をどのように考えたら良いか等について講話がありました。死について考える機会は、日々の生活の中で考えることがないのでとても勉強になりました。講話にて考える機会としての本の紹介等もあったので是非この機会に読んでみて下さい。運動会後でご家族もお疲れのなかではありましたが、35名を超えるたくさんのご家族にご参加いただきました。ご協力ありがとうございました。今後も施設内の各部門より、介護や看護等に関する情報を発信していきたいと考えています。



デイケアだより

梅雨入りを前に、利用者様が苔玉を作ってくださいました。出来上がりまでに、いくつもの工程があり、とても手間がかかるものだと知りました。

南海老健の中庭に飾らせていただいていますのでご覧ください。涼しげで癒し効果のある苔玉を眺めていたら、じめじめした梅雨も気持ちよく過ごせそうです。

ありがとうございました。



居宅ケアマネです！

今回は災害時の支援について触れたいと思います。

熊本・大分の震災から2ヶ月が経過しましたが、益城市や南阿蘇村などでは、避難生活が続いており、まだまだ支援が必要な状況です。災害はいつ来るか予測できず、平常時より災害に備えた準備が必要です。今一度、身の周りを確認してみましょう。

<平常時の準備>

- ・食料、飲料水、生活必需品が入った非常時持ち出しリュックの確認
- ・家族同士での安否確認方法の確認
- ・避難経路、避難場所の確認
- ・家具の置き場所の確認

※もっとも重要なことは近隣と顔の見える関係を日頃より作っておくことが大切です！



窓口：南海医療センター附属居宅介護支援センター
介護支援専門員 國部・古川・山下

リハビリテーション室より



今回は『若年性認知症』についてです。18歳から64歳までに発症した認知症の人を若年性認知症と呼び、現在5万人を超えていると報告されています。病院で診察を受けても、うつ病や更年期障害、統合失調症に間違われるケースが多く、65歳以上になってから、実は若年性認知症だったと診断を受ける事も少なくありません。

若年性認知症は、脳血管性とアルツハイマー型の2つが多く見られます。その他にも、前頭側頭葉型やレビー小体型、頭部外傷後遺症や、アルコール性認知症なども見られます。症状としては、高齢者の認知症と大差ありませんが、自身の状態を受け入れることが困難な方が多く、常に安心感を感じてもらえるような対応が必要になります。

主な症状①物忘れ(記憶障害・見当識障害→約束を忘れる、スケジュール管理ができない など)

②同時処理困難(洗濯機をまわしながら料理を行い、洗濯機をまわしていたことを忘れる など)

③視空間認知低下(よくつまずく、ぶつかる、車の運転や駐車がうまくできなくなる など)

④性格変化(焦燥感や不安感の増大により、暴言・暴力の増加や、人に会うことを極端に嫌うようになる)

⑤言語障害(「あれ」や「これ」の多用による具体的な言葉の減少、会話中に話が詰まることが増える)

対策としては、当然「早期発見・早期治療」が最も重要です。そして、食習慣の見直しを行い生活のリズムを安定化させるとともに、定期的に適度な運動(リハビリ)を行うことが大切です。リハビリといっても、音楽を聴いたり歌ったり(音楽療法)、友人と昔話をしたり(回想法)、簡単な計算やパズル、オセロ等のゲームをしたり(学習療法)と、ストレスを感じずにリラックスした状態で脳に刺激を与え、活性化を図ることが重要です。

利用者様・ご家族様の心と体が少しでも元気になるように、今後もリハビリを提供させて頂きたいと思っております。



豆知識

～看取り委員会～

当施設におきましても医療度の高い方が入所されており、ここ数年利用者やご家族でも老健での最後を希望される方が増えています。そこで「看取りとは何か」ということですが、看取りとは医師の判断で医学的に回復の見込みが困難でかつ医療機関での対応の必要性が薄いと判断した方とされており近い将来死に至ると予見される方に対し、身体的・精神的苦痛・苦悩を出来るだけ緩和し安らかな死を迎える間の看護、介護の事です。終末といわれましてもご本人、ご家族の方は死をどのように受け止めたら良いのかとの不安があります。その中でご本人、ご家族の終末期への不安やどのような最期を迎えたいか?等を伺い医師、看護、理学療法士、介護、栄養士の全員で援助しています。個室を利用させていただき事でご本人様、ご家族様が他利用者に気遣いをされる事なく過ごされる環境を作りながら当施設で「最後を迎える事ができて良かった」と思ってもらえるにはどのようにすればよいのかという事を考えながら従事しております。

職員紹介



- ①名前:大垣 香菜
- ②職種:看護師



- ③趣味(休日の過ごし方)
買物・ドライブ・ライブに行く
- ④座右の銘
「なせば成る」
- ⑤ひと言

老健に来て1年が経ちました。色々と戸惑う事も多いですが楽しく仕事をさせてもらっています。これからも利用者様が過ごしやすいようにお手伝いさせていただきます。よろしくお願いします。



- ①名前:久保田 忍
- ②職種:看護師長

- ③趣味(休日の過ごし方)
趣味と言えるかどうか、小物作りでしょうか。季節ごとに自分で作っては飾って楽しんでいます。

- ④座右の銘
「ひとの振り見て 我が振り直せ」
見習うこと、改めること、いつも反省です。

- ⑤ひと言
私たちの仕事は、ひととひとのつながりを基本としたものであると思っています。これからも大切にしていきたいと思います。
どんな時も、自然の移り変わりを感じられる感性を持っていたいと思っています。

新人紹介



5月1日 付で南海医療センターから異動となりました。人の顔と名前、物品の配置 曜日ごとの業務の流れなどわからないことだらけの状態です。ノロマなのでご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。

看護師 向 あき



事務連絡・お知らせ

- ・介護保険負担限度額認定証の更新の案内を行っていきたくと思います。(※入所の方のみ対象)
- ・汗ばむ季節となりましたので衣替えをお願いいたします。
- ・7月18日(月)海の日で祝日となりますが通常通り入浴あります。
- ・7月30日(土)『夏祭り』を開催します。入所の方で甚平・浴衣をお持ちの方は、ステーションまでお持ち下さい。
- ・医療保険証(後期高齢者医療保険証)が7月末までとなっています。新しい保険証が届きましたら、事務室に提出して下さい。
- ・食費代・居室代(介護保険負担限度額認定証)で割引を受けている方は、更新時期になりましたので市役所にて手続きお願い致します。※手続きしない場合は利用料が上がりますので、ご注意下さい。

7月行事予定

- 13日(水)音楽ボランティア
午前 3階、午後 2階
- 20日(水)華丘流慰問
午後 2階
- 25日(月)散髪
- ※予約は各階ステーションにて
- 26日(火)大正琴(高藤の会)
午前 3階
- 27日(水)誕生会
午後 2・3階
- 30日(土)夏祭り



8月行事予定

- 10日(水)音楽ボランティア
午前 3階、午後 2階
- 17日(水)華丘流慰問
午後 2階
- 22日(月)散髪
- ※予約は各階ステーションにて
- 23日(火)大正琴(高藤の会)
午前 3階
- 31日(水)誕生会
午後 2・3階

